

**第 14 回日中韓三カ国環境大臣会合
ビジネスフォーラム要旨（仮訳）
中国北京
2012 年 5 月 3 日 - 4 日**

背景

第 14 回日中韓三カ国環境大臣会合及びビジネスフォーラムは、中国環境保護部の主催により、2012 年 5 月 3 - 4 日の 2 日間に渡り北京で開催された。ビジネスフォーラムは日中韓の環境産業における情報共有及び協力を促進するために開催されている。日中韓の大臣は、TEMM の枠組みにおける新たな試みとして、本フォーラムを開催することで環境保全産業に関する協力を強化することに合意した。日中韓の代表者計 40 名がビジネスフォーラムに参加し、その多くは行政機関、企業及び公共団体からの出席者である。今年度のビジネスフォーラムは、「環境サービスの発展」に焦点を当てながら、以下の 2 つのテーマを定めた。一つは、「環境サービス産業を発展させるための市場スキームの創設と改善」、もう一つは「国際協力を拡大することによる環境サービス産業の促進」である（ビジネスフォーラム参加者リスト参照）。

テーマ 1: 環境サービス産業を発展させるための市場スキームの創設と改善

日本の 2 社、韓国の 1 社と中国の 2 社が、本テーマについて発表を行った。発表では、韓国の代表者が防塵に関する先進技術や中国での共同プロジェクトについて説明し、中国市場においてより多くのビジネスチャンスを得ることに対する期待を示した。日本の代表者は、特にコンサルティング、具体的には技術、処理方法や低炭素経済を促進するための取組に焦点を当てながら、環境サービスにおける事業成果について発表を行った。日本の代表者は、市場原理及び標準規格を導入することを重要視していた。また、中国の代表者は、いくつかの実証事例に基づいた契約型環境サービスの登場について説明を行った。そして、中国の代表者は、日本や韓国からの投資に関する提案だけでなく、中国の中小規模都市における（環境サービスを促進することによる）環境問題の解決策について提案を行った。

テーマ 2: 国際協力を拡大することによる環境サービス産業の促進

日本の 3 社、韓国の 2 社、そして中国の 3 社が本テーマについて発表を行った。本テーマについて発表を行った計 8 社の企業は、三カ国間での共同プロジェクトを実施しており、国際的な産業協力に関して相互理解を深めることができた。日本の代表者は、中国での共同プロジェクトによるリサイクル、廃棄物処理及び環境測定に関する知識や情報を共有した。そして、環境問題には国境はないが、グローバル化の中で環境問題に取り組むためには国際協力が不可欠であると説明した。また、日本の代表者は環境測定の標準化と情報共

有（の必要性）についても言及した。韓国の代表者は、地域内における協力の見通しを調査し、環境サービス産業の新しい考え方を明確にし、三カ国間の様々な視点からより綿密な産業協力について提案を行った。また、中国の代表者は、下水廃水処理、廃棄物のリサイクル、廃棄された自動車や電子機器、技術イノベーションに関する事業を説明した。中国の代表者は前向きな姿勢を持ちながら、日本と韓国と連携しながら長期的で安定した相互利益をもたらす持続可能な産業協力を確立していくことに期待を寄せていた。

ディスカッションの内容

ディスカッションでは、参加者は三カ国間の文化や規則の違いによって時に生じるコミュニケーションにおけるいくつかの課題について議論を行った。現地の状況への理解を深めることは国際的な産業連携を円滑にするための良い解決策になることを提案する参加者もいた。技術面に関する情報の交換を行いながら、各国の代表者は現在進行中の共同プロジェクトをベースとして、お互いの技術協力についてより一層の推進を述べる参加者もいた。フォーラム内でも相互連携の可能性が模索されたが、技術協力に関する例としては、廃棄物処理や土壌改善に関する市場の拡大が挙げられ、当該分野においてより多くのビジネスチャンスを求めていくことが話し合われた。

まとめ

日中韓の三カ国が共有した事項として、地域の環境サービスにおける更なる情報交換と連携、環境保全産業の開発の促進やグリーン経済への移行を支援していくためには、三カ国における官民が一体となった行動及び取組を必要とする。ビジネスフォーラムは、日中韓の環境保全産業における知識の共有と協力を促進するためのプラットフォームとして極めて重要である。ビジネスフォーラムでは、各国の参加者が素晴らしい発表を行い、日中韓がこれまで培ってきた豊富な経験が十分に活かされたことで、環境サービス産業と国際協力の発展に関する考え方を共有することができた。また、具体的な共同プロジェクトを実施することへの意欲が示された。最後に、各国の代表者は本フォーラムの主催者である中国環境保護部と実施者である中国アセアン環境協力センターの準備に感謝の意を表明した。